

# 自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 1, No. 2 神奈川県立 生命の星・地球博物館 Sept., 1995



## オオムラサキ

*Sasakia charonda charonda* (Hewitson)

1994年7月20日、山梨県韭崎市にて  
高桑撮影

高桑正敏（当館学芸員）

オオムラサキは日本の国チョウとしてよく知られています。しかし同時に、もし神奈川の県チョウを選ぶとすれば、

本来はその候補のまっさきに挙げねばならぬ種類の1つです。と言うのも、神奈川県から得られた標本を基にして命名されたチョウのうち、最古の名称として認められているものは17種ほどあります（本号2-3ページの猪又敏男氏の解説を参照してください）が、年代的にはそれらの中ではもっとも古い（1863年と考証されています）ものの1つであること、丹沢と箱根の高地を除く県内のほぼ全域に分布している（い

た）こと、大きくて美しく、飛び方も勇壮であることなどが、その根拠です。ただし、「神奈川県レッドデータ生物調査報告書」に記されているように、平地ではすでに壊滅的な状態にあることが大変残念です。

写真は求愛中のひとコマです。樹液で吸汁中のメスを誘い、2度3度と葉上で求愛していました（右がオス）が、そのつどメスに断られ、ついには離ればなれになってしまいました。